

はむら市議会だより

No. 96

(通巻No. 205)

平成25年2月15日発行
羽村市議会
〒205-8601
東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1
☎ 042(555)1111
ホームページアドレス
http://www.city.hamura.tokyo.jp/

羽村市議会 検索



▲あれれ、おもちゃとれないよ？(児童館の職員手作りの臼と杵とお餅です。東児童館「こくまひろば」で)

平成25年市議会開催予定

3月定例会	9月定例会
2月26日(火) 本会議(初日)	8月27日(火) 本会議(初日)
2月27日(水) 本会議	8月28日(水) 本会議
2月28日(木) 本会議	8月29日(木) 本会議
3月1日(金) 本会議	8月30日(金) 本会議
3月5日(火) 常任委員会	9月3日(火) 常任委員会
3月6日(水) 常任委員会	9月4日(水) 常任委員会
3月8日(金) 予算審査特別委員会	9月9日(月) 決算審査特別委員会
3月11日(月) 予算審査特別委員会	9月10日(火) 決算審査特別委員会
3月12日(火) 予算審査特別委員会	9月11日(水) 決算審査特別委員会
3月18日(月) 本会議(最終日)	9月19日(木) 本会議(最終日)
6月定例会	12月定例会
6月10日(月) 本会議(初日)	12月3日(火) 本会議(初日)
6月11日(火) 本会議	12月4日(水) 本会議
6月12日(水) 本会議	12月5日(木) 本会議
6月13日(木) 本会議	12月6日(金) 本会議
6月19日(水) 常任委員会	12月11日(水) 常任委員会
6月20日(木) 常任委員会	12月12日(木) 常任委員会
6月27日(木) 本会議(最終日)	12月18日(水) 本会議(最終日)

*予定は変更になる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

あなたも議会を
傍聴してみませんか？
次回の定例会は3月です。

インターネット録画中継も行っていますので
いつでも本会議をご覧になれます

羽村市議会 検索

第4回(11月)臨時会

第5回(12月)定例会

一般質問 市政を問う(15人の議員が一般質問)	2ページ
審議した主な議案と議決結果	12ページ
平成24年常任委員会活動報告	15ページ
総務委員会	16ページ
経済委員会	18ページ
厚生委員会	20ページ
市議会の主な活動	22ページ

編集後記

先月行われた成人式の会場でも20歳から選挙権があることがPRされていた。スウェーデンの選挙権・被選挙権は18歳からだ。子ども達には、18歳になったら「選挙する権利」とともに「選挙される権利」を行使しようと考えている。もちろん誰もが政治家になることを望むものではないが、政治への関心を常に持つことの重要性は、大いに啓蒙されるべきであろう。昨年12月に、衆議院議員選挙と都知事選挙が行われた。この3月末には、市長選挙と市議補欠選挙が行われる。引き続き都議選挙と参議院議員選挙が予定されている。「選挙する権利」とともに「選挙される権利」についても考える機会としたい。(濱中記)

【編集委員】
石居 尚郎 富松 崇
富永 訓正 鈴木 拓也
大塚あかね 山崎 陽一
濱中 俊男

市政を問う

平成24年第5回羽村市議会(定例会)を、12月4日から12月20日までの17日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての所信表明がありました。12月4日、5日、6日には、15人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。
※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
川崎 明夫	2	富松 崇	8
石居 尚郎	2	濱中 俊男	8
大塚あかね	4	水野 義裕	9
中嶋 勝	4	門間 淑子	10
小宮 國暉	5	鈴木 拓也	10
西川美佐保	6	山崎 陽一	11
橋本 弘山	6	馳平 耕三	12
富永 訓正	7		

かわさき あきお
川崎 明夫 議員
(新公会市民クラブ)



◇並木市長の

来期の市政担当への決意を問う

並木市長の来期の

市政担当への決意を問う

質問 並木市政3期目の、任期満了まで約4か月となった。選挙管理委員

会から、来年3月に市長選挙が行われると公表され、次期市長選挙への市民の関心が高まっている。並木市長の実績は、多くの市民が高く評価

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



◇財政の見える化を促進

◇幼児教育、子育て環境の推進を

◇動物愛護・動物との共生社会を

財政の見える化を促進

質問 財政の見える化に向けて新公会計制度も含めどう推進していくか。市長 東京都会計制度改革研究会や

他の自治体からの情報収集などを通じて、さらなる財政の見える化の研究を進めていく。新公会計制度への対応として、現段階で取り掛かれるもの

しているところであり、続投を望んでいる。そこで、市長の来期の市政担当への決意を問う。

市長 市民の皆様のご支援をいただき、3期12年が過ぎようとしている。これまで、第四次羽村市長期総合計画をはじめ、さまざまな計画に定めた事業の実現に取り組んできた。そうした取り組みによって、福祉、教育、環境、産業、都市基盤整備など、前進させることができたと思っている。市民の皆様のお励ましとご理解、ご協力に感謝を申し上げる次第である。

本年4月に、新たな第五次羽村市長期総合計画をスタートさせていた

いた。この計画において、将来像を「ひとが輝きみんなでつくる安心と活力のまち はむら」と定め、その実現に向けて、行政運営を推進しているところである。国も地方も将来の姿を見通すことが難しく、進むべき道を見出していくため、模索を重ねている。今回も過言ではない。今回の衆議院、都知事選挙によって、社会保障の仕組みや地方分権および税財政制度など、市町村の行財政運営にも影響が生じるものと捉えている。

私は、これまで取り組んできた市政をさらに前進させるとともに、第五次羽村市長期総合計画を履行していくことが、私に課せられた責務であると考えているので、この愛する郷土、羽村のさらなる発展のため、引き続き、市政を担当させていただきたいと考えていることを表明させていただく。



▲水道事務所の配水塔の上から市を望む

については、順次、進めていく。

質問 より解りやすい財政報告を。

市長 さらに解りやすく、「財政情報紙」を発行していく考えである。

幼児教育、子育て環境の推進を

質問 羽村市で、子ども・子育て会議を設置する考えは。

市長 平成25年度に羽村市版子ども・子育て会議を設置していきたい。

質問 来年度予算においてニーズ調査のための予算を。

市長 地域における子ども・子育てに関するニーズを把握する必要があり、経費を予算化していく。

質問 利用者の側に立った支援サービスをどう推進していくのか。

市長 多様化する市民の生活スタイルや価値観、地域の実情に即した子育て支援施策の新たな事業計画として、平成26年度前半を目標に定める。

動物愛護・動物との共生社会について

質問 猫の避妊・去勢手術の助成制度を設置する考えは。

市長 避妊・去勢手術は、猫の数を抑制するための、有効な方法の一つであると認識しており、先進事例などを参考に調査・研究しながら、助成制度の創設に向けて検討している。

質問 動物愛護基金条例の制定を。

市長 市民と行政が連携して取り組んでいくという面で有意義なことであると捉えており、どのような方法が取れるのかを検討していく。



▲児童館事業「あそびのポケット」(2歳~未就学児と保護者対象)(写真は東児童館)